

学校だより 3月号

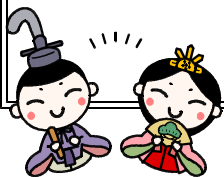
TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

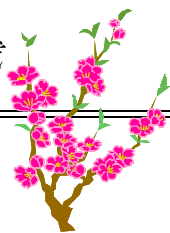
平成 31 年 3 月 1 日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp
毎月 19 日は「食育の日」です。



【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



平成 30 年度の集大成に向けて ～個々の成長の証はクラスの成長として実を結ぶ～

校 長 池澤 道弘

立春を過ぎ、暦の上では「春」を迎えましたが、朝夕を中心にまだまだ寒い日が続いています。今日から 3 月、平成 30 年度も残すところあと 1 月ほどになりました。1 月は「行く」2 月は「逃げる」3 月は「去る」と言いますが、短い 3 学期はとりわけ月日の経つのが早く感じられます。子どもたちはこの 1 年間、それぞれの学年で学ぶべきことを学ぶとともに、様々な体験をしてまいりました。特に、大きな行事である運動会 校内音楽会 持久走大会等では、練習の段階からそれぞれが目標をもち、精一杯努力を積み重ねている姿が見られました。教育は日々の積み重ねによって、その成果が実を結びます。1 年のまとめの月にあたり、引き続き一日一日の大切さを子どもたちに指導してまいりたいと思います。

また、今年度もたくさんの地域の皆様、学校応援団の皆様、そして P T A やおやじの会をはじめ保護者の皆様にあらゆる面で本校の子どもたちを応援していただきました。お陰様で、合鴨農法、さつまいも苗植え、長寿会との交流、日本文化体験、福祉体験、小谷小まつり等、地域と連携した小谷小らしい教育活動を順調に実施することができました。本校の特色ある教育活動は、地域と密接に関わっています。今後も地域との繋がりを密にするとともに、様々な角度から教育活動の様子を発信していきたいと考えております。

子ども達には始業式の時、3 学期は短い学期だけれど、1 年間のゴールを迎えるとても大切な学期であることを伝えました。また、一人一人が自分からクラスのために積極的に行動することが、「この仲間であつた」と思えるクラスづくりに繋がるという話をし、「いいクラス」の例として、次のようなエピソードを紹介しました。

昔、当時中学生の弟が学校帰りに床屋で丸坊主にしてきた。失恋でもしたのかと聞いたら、「小学校時代からの女の子の友達が今日から登校するようになったからだ」と言う。実は、その子は今まで病気で入院しており、薬の副作用で髪の毛が全部抜けてしまったのだそう。その子は「女の子が丸坊主で恥ずかしい」と言っていた。だったら他にも丸坊主がいれば恥ずかしくないかなと思って床屋に行ってきたらしい。「野球部は丸坊主じゃないか」と言ったら、「野球部は元々丸坊主だから、野球部じゃない丸坊主がいた方がいいんだ」と弟は言っていた。翌日、丸坊主で登校した弟は家へ帰ってくるなり「同じ事考えた奴が一杯いた…」と言った。なんでも優等生から、いつもは茶髪の問題生徒を含め、クラスの男子全員が丸坊主かそれに近い頭になっていた。病気の女の子と仲が良い女の子達は男の子みたいなベリーショートに髪にしておいて、一人は完全な丸坊主になっていた。更に担任の男性の先生まで丸坊主。丸坊主だらけの教室で、病気の女の子は爆笑した後「ありがとう。ありがとう」と言って泣いたという。

示し合わせたわけでもないのに、たったひとりの心を痛めている女の子のために同じ事を考えたクラス。心が通じ合っていなければこんな発想にはならないと思います。

クラスは個の集合体です。だから、一人一人の成長はクラスの成長として表れてきます。1 年間の集大成の姿として、4 月に新学年がスタートした時に心に思い描いたクラスになるよう、ラストスパートを頑張る子どもたちを全力で支援していきたいと思います。

残りわずかとなりましたが、今月もよろしくお願いいたします。

